

ビーチバレーボール国際大会出場基準・オリンピック日本代表選考について

1. 国際大会出場基準

JVA ビーチバレーボール強化委員会は各種ビーチバレーボール国際大会の出場基準について以下のとおり出場基準を定める。出場を希望するチーム（強化指定選手を含む）は各大会もしくはその予選に対し JVA が定める方法、期限に基づいてエントリーを行うものとする。

■ FIVB ワールドツアー（*1～*5）

各大会の JVA エントリー期限日時点での日本ランキングポイント（選手2人のポイントの和）の高いチームから FIVB へのエントリーを行う。

ただし、強化委員会の判断により JVA 強化指定選手を含むチームを優先してエントリーする場合がある。

各大会の出場チームは決定時にエントリーチームに対し通知する。

■ FIVB 世界選手権

FIVB、AVC が定める予選プロセスに基づき出場権を与える。予選プロセスの情報は入り次第速やかに公表する。

■ AVC アジアツアー

各大会の JVA エントリー期限日時点でエントリーチームの中から JVA ビーチバレーボール強化委員会の選考により出場チームを決定する。各大会の出場チームは決定時にエントリーチームに対し通知する。

◇ 2017年～2018年は2020年東京オリンピックに向けて有望と考えられるチームで FIVB ポイントが必要と判断されるチームに優先して出場権を与える。

◇ 2019年～2020年は2024年オリンピックに向けて有望と考えられるチームで FIVB ポイントが必要と判断されるチームに優先して出場権を与える。

◇ 上記の対象チームがいないと判断される場合は日本ランキングの高いチームより出場権を与える。

■ AVC アジア選手権

各大会の JVA エントリー期限日時点でエントリーチームの中から JVA ビーチバレーボール強化委員会の選考により出場チームを決定する。各大会の出場チームは決定時にエントリーチームに対し通知する。

◇ 2017年～2018年は2020年東京オリンピックに向けて有望と考えられるチームで FIVB ポイントが必要と判断されるチームに優先して出場権を与える。

◇ 2019年～2020年は2020年東京オリンピック予選のオリンピックランキングが高いチームより出場権を与える。

◇上記の対象チームがいないと判断される場合は日本ランキング（選手2人のポイントの和）の高いチームより出場権を与える。

■ アジアコンチネンタルカップ

▶ 第1フェーズ、第2フェーズ

JVAが定めるエントリー期限の時点で日本ランキング(選手2人のポイントの和)の高いチームより上位2チームを日本代表チームとして派遣する。3チーム目を補欠とする場合がある。

▶ セミファイナル、ファイナル、世界最終予選

日本代表決定戦（2020年4月ごろ）における上位2チームを日本代表として派遣する。3位のチームを補欠とする場合がある。日本代表決定戦の開催要項は別途発表する。

■ アジア競技大会

日本代表決定戦（2018年4月ごろ）における上位チームより日本代表として派遣する。アジア競技大会の出場チーム数はJOC理事会により決定されるため、それを受けて日本代表チームの数も決定される。

■ アジアビーチゲームス

大会の開催要項がJOCより届き次第、出場チームの決定方法を強化委員会で定め発表する。

2. 2020年東京オリンピック日本代表選考について

JVAビーチバレーボール強化委員会はFIVBの定めるオリンピック予選プロセスに基づき2020年東京オリンピック日本代表の選考を以下の通り定める。

※FIVBが正式な2020年東京オリンピックの予選プロセスを発表した際、それに基づき若干の修正を行う場合がある（以下は現時点でJVAとしてのルールを定めるために2016年リオデジャネイロオリンピックのシステムを基にしたものである）。

■ オリンピック出場資格（FIVBが定めるルール）

ビーチバレーボールの出場選手はオリンピックの大会1日目の時点で14歳以上でなければならない。加えて、オリンピックの出場権の獲得方法によって以下の出場資格が選手個人に求められる。

▶ オリンピックランキングと世界選手権

◇それぞれの選手個人がオリンピック予選期間内（2019年1月1日～2020年6月（期日未定）のFIVBワールドツアー、世界選手権、AVCアジア選手権に合わせ12大会以上出場していなければならない。

◇NF（JVA）はオリンピックランキング、世界選手権優勝によって得た出場枠について出場資格を持つ選手でオリンピックランキングの上位6チームからオリンピック出場チームを決めなければならない。

▶ コンチネンタルカップ、世界最終予選

◇それぞれの選手が2018年5月1日～2020年6月上旬までの間に開催されるFIVB

ワールドツアー、世界選手権、AVC アジアツアー、アジア選手権、アジアコンチネンタルカップ、FIVB に承認された国内ツアーに合わせて 12 大会以上出場していなければならない。

■ オリンピック出場権の獲得方法

オリンピックは以下の方法により出場チームが決定される。開催国も含め各国男女それぞれ最大 2 チームまでの出場枠を獲得することができる。

出場枠数	出場方法
1	世界選手権優勝 2019 年の世界選手権の優勝チームの NF にオリンピック出場枠が与えられる。
15	オリンピックランキング オリンピックランキングで上位 15 チームの NF にオリンピック出場枠が与えられる。 オリンピックランキングは 2019 年 1 月 1 日～2020 年 6 月（期日未定）に開催される世界選手権、ワールドツアー、大陸選手権（期間内に 2 回開催された場合はどちらか成績の良いほうのみ加算される）におけるチームとしてポイントの高いほうから 12 大会の成績が積算される。
5	コンチネンタルカップ 各大陸で開催されるコンチネンタルカップの優勝した NF にオリンピック出場枠が与えられる。 開催国、世界選手権、オリンピックランキングですでに 2 チームのオリンピック出場枠を獲得している NF はコンチネンタルカップ（ファイナル）に出場することはできない。
2	世界最終予選 各大陸のコンチネンタルカップで 2 位と 3 位になった NF が世界最終予選に出場することができる。世界最終予選で 1 位と 2 位になった NF にオリンピック出場枠が与えられる。

※開催国枠

オリンピック開催国の NF には男女各 1 枠のオリンピック出場枠が保証される。また 2 チーム目の出場枠を獲得するためにオリンピック予選に参加する権利がある。開催国は割り当てられた出場枠の使用について、出場資格に基づいたうえで最終オリンピックランキングの決定日に確定しなければならない。

■ JVA オリンピック日本代表選考基準

全てのオリンピック出場権は NF (JVA) に対して与えられるものであることから JVA はオリンピック日本代表チームの決定について以下の通りとする。

➤ 世界選手権優勝による出場枠

2019年の世界選手権優勝によりオリンピック出場権を獲得した場合、その世界選手権に優勝したチームにオリンピック出場権を与える。

もし2019年の世界選手権で優勝したチームがオリンピックの出場資格を満たさない場合、下記の開催国枠の決定方法に準じてオリンピック日本代表チームを決定する。

▶ オリンピックランキング出場枠

あるチームによって開催国枠以外のオリンピックランキングによる出場権を獲得した場合は、そのチームにオリンピック出場権を与える。

▶ コンチネンタルカップ、世界最終予選による出場枠

コンチネンタルカップもしくは世界最終予選にて獲得したオリンピック出場権はコンチネンタルカップ出場チーム（第1フェーズ、第2フェーズも含む）のうちオリンピック出場資格を持っている選手（チーム）による日本代表決定戦にてオリンピック日本代表を決定する。この場合、日本代表決定戦には実際にコンチネンタルカップに参加したチームにのみ出場資格を与え選手の変更は認めない。

▶ 2020年東京オリンピックの開催国枠

最終のオリンピックランキングで開催国枠にあたるチームがオリンピックランキングポイントを、

◇ 4,000ポイント以上持っている場合は、そのチームにオリンピック出場権を与える。

◇ 3,000ポイントから3,999ポイントの場合は、この範囲のポイントを持つチームでのオリンピック日本代表決定戦を行う。この範囲のポイントを持つチームが他にいない場合は、そのチームにオリンピック出場権を与える。

◇ 2,999ポイント以下である場合は、そのチームを含む最終オリンピックランキングの日本チーム上位6チームによるオリンピック日本代表決定戦を行う。

3. 国際大会に参加する際のユニフォームについて

国際大会のうちJVAもしくはJOCが特に指定し日本代表を派遣する大会（オリンピック、アジア競技大会、アジアコンチネンタルカップ、アジアビーチゲームスなど）については、出場する選手、大会オフィシャルとなるスタッフについてはJVAもしくはJOCから支給される公式ウェアを着用規定に基づき着用しなければならない。

それ以外の国際大会に参加するチームは、各チームが大会のレギュレーションに沿ったユニフォームを用意して大会に参加しなければならない。

JVA強化指定選手については別途ユニフォームについて規定を定める。

以上